

# 社会福祉法人光朔会オリンピア 議事録

館長	部門長	リーダー

記入日： 2016年 2月 13日

会議名	グループホームオリンピア兵庫 第58回運営推進会議	記入者	西塚 裕真 印
日時	2016年 2月 13日(土)10:00~11:00	場所	Cafe Olympia
参加者	【入居者】(ユニット1)木野禮子様、三橋アサエ様 (ユニット2)鷲尾須磨子様、吉本美齡子様		
	【ご家族】三橋敏弘様(三橋アサエ様)、天野淳子様(吉本美齡子様)		
	【地域包括】木村道子様(浜山あんしんすこやかセンター)【地域代表】山本知枝(Cafe Olympia店長)		
	【知見を有する者】中村文香(大阪大学大学院人間科学研究科)		
	【社会福祉法人光朔会】山口 元(理事長) 【オリンピア灘】山口裕子(保育事業本部長・ホーム長)		
	【オリンピア兵庫】山口 宰(館長)、市田恒夫(グループホーム管理者)		
配付資料	レジュメ、月刊オリンピア兵庫115号・116号(2016年1月・2月発行)		
	Salon de l'Olympiaチラシ		
<b>議 事</b>			
1. ごあいさつ(市田恒夫・グループホーム管理者)			
2. 運営推進委員の自己紹介(各出席者)			
4名の入居者様に出席していただき、初めて鷲尾様、三橋様の息子様にご出席いただいた。			
3. ユニットからのご報告(稲田麻里・ユニット1リーダー、西塚裕真・ユニット2リーダー)			
(稲田)12月は、長年、未生流を習われていた方がお花を生けてくださったり、お得意の縫い物をされたり、最近はお声をかけあって、お食事の準備を積極的にしてくださっている。また、ショートステイの方が遊びにきてくださった。1月3日より、堀田藤恵様をお迎えした。初めは、不安な様子であったが、すぐに打ち解けられている。お正月には和田宮神社や柳原えびすに参拝した。三橋様が長年この地域で生活されているので、どのように回ったらいいかなど教えてくださった。また、木野様と晩酌用のワインを買いにピアさんばしに買いにでかけた。業務用のワインを購入し、毎晩、楽しんでいる。			
(西塚)夜、パジャマに着替えても、まだ、眠たくないとのことで、眞川様のお部屋に高橋様が遊びに行かれたり山本様のお孫さんが曾孫さんと一緒に遊びに来て下さった。お正月には、書き初めをし、眞川様はお店の宣伝をされていた。高橋様はご主人にお手伝いいただきながら、書かれていた。また、お誕生日をおひとりおひとりに合った形でお祝いさせていただいている。幼稚園の先生をされていた宮田様には、ご自身にピアノの演奏をしていただいたり、多くのご家族にもご参加いただくことができた。			
4. 行事のご報告(山口 宰・オリンピア兵庫館長)			
(市田)2月7日の夕食の準備の際にキッチンより出火した。3人のスタッフがいたが2名は居室にて対応しており、1名が夕食の準備をしていたが、ご入居者の方が居室に戻りたいとのことで、火をつけたまま居室に案内し、戻ってきたところ、火が上がり、すぐに消火器にて火を消し、ご入居者の方を隣のユニットへ誘導した。その後、関西電力、防火設備の点検を依頼しているみそのサービス、建築設計をしてくださった土来に点検していただいた。			

議事

また、リビングにはスタッフが1名いるようにしていく。2月22日に消防訓練を実施する。

(館長)ご心配、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。対策会議を行った。防火体制は取っていたが火が上がったら、家庭用で鍋に入れたら火が消えるものもあるので、そういったものも用意し、早く対応できるようにする。マニュアルの見直しもおこなっていく。1月23日に発達障害理解のための基礎と実践講座の講演を神戸芸術センターで開催し、1,200名を超える方にお集まりいただいた。主に学校の先生で、4月から合理的配慮が義務付けられることで、具体的な対応に興味があったようである。(西塚)法人でフットサルチームを作っており、12月に神戸市老人福祉施設連盟主催の大会に参加し優勝した。夜だったので、応援はスタッフだけだったが、また、ご入居者の方と応援に行きたい。(館長)2月22日に消防訓練、28日の午前中に就職説明会、午後には神戸芸術センターにて「よくわかる!認知症とこれからのケア」について講演会を開催する。3月14日-15日にしあわせの村にて新入職員トレーニング合宿、2月8日・3月14日に若手リーダー育成研修をおこなう。(中村)月に1度パーソンセンタードケアコミュニティを開催している。知識だけでなく、現場での悩みを他ユニットのスタッフと意見交換することで、新しい気付きの場となっている。

5. 意見交換

木村氏「皆さんお元気でよかった。これから春に向けてより活発に活動されることを楽しみにしている。」

三橋氏「火事の瞬間に立ち会った。消火は速やかであったが、煙がひどかった。どちらを優先させるかの判断は

難しいが、ご入居者の避難の方が咽せ込む可能性もあるので優先するべきではなかったかと感じた。また、

息子がクリスマス会に参加し、時間が長く疲れていたもので、演奏会は別でした方がいいと言っていた。

天野氏「先日、UD映画祭に参加し、『ペコロスの母に会いに行く』を鑑賞した。母をグループホームに預ける話で

いろいろ考えさせられた。オリンピアではあり得ない、大きく世間に出るのは悲しいと感じた。」

山口理事長「20年前に発達障害理解のための基礎と実践講座を始めた。その頃は、厚生労働省から日本には

そういう人はいないというスタンスであった。それが、これだけ騒がれるようになった。オリンピア灘や

兵庫を開設したころは、スプリンクラーの設置義務はなかったが、必要だと判断し設置した。

消防署からはこれだけのものが付いているから『動くな』と言われている。また、介護やグループ

ホームを紹介するテレビ番組を録画して、職員研修で使用し、間違えていることを伝えている。

灘に千葉県の淑徳大学で介護について学んでいる学生が来られた。武野氏が千利休の師匠であ

る武野 紹鷗について話をすると、武野 紹鷗だけでなく、千利休も知らなかった。武野氏は、そんな

ことでは、オリンピアでは働けないと仰っていた。」

○第59回運営推進会議 4月9日(土)10:00